

第6期総合計画施策評価

基本目標	1	人と環境にやさしいうるおいのあるまち
基本施策	1	ごみの適正処理とリサイクルを推進するまちづくり

基本施策の目標

廃棄物処理を適正に進めるとともに、ごみの減量化とリサイクルに努め、資源の有効活用を図る循環型のまちを目指します。

基本事業の成果指標

基本事業	指標名	単位	(H21)	(H27)		(H29)	(H32)	
			現状値	中間目標値	実績値	評価	実績値	最終目標値
①	1人1日当たりのごみ排出量	g	1,085	1,057	1,148	E	1,145	1,030
①	リサイクル率	%	19.3	25.0	20.3	D	20.4	30.0
②	不法投棄回収量	t/年	4.31	2.00	4.62	E	3.19	1.00

関連事務事業の実績値

基本事業	従	事務事業名	成果指標名	H25計画値	H28計画値	H29計画値
				H25実績値	H28実績値	H29実績値
①		資源ごみ団体回収 助成事業	資源ごみ 団体回収量 (単位/kg)	740,000	770,000	780,000
				823,040	691,616	672,124
①		ごみ分別収集 推進事業	間違っ出された ごみ件数 (単位/件)	4,140	3,930	3,860
				4,636	4,058	4,695
①		廃棄物減量等 推進審議会 運営事業	1人1日当りの ごみ排出量 (単位/g)	1,070	1,050	1,045
				1,212	1,140	1,145
②		不法投棄防止 対策事業	不法投棄家電数 (単位/個)	35	35	35
				45	22	11
②		ごみ処理場 環境管理事業	基準不適合件数 (単位/件)	0	0	0
				0	0	0
②		ごみ収集処理事業	ごみ収集量 (単位/kg)	3,310,000	3,220,000	3,190,000
				3,347,710	3,235,030	3,243,980
②	☆	廃棄物減量等 推進審議会 運営事業	1人1日当りの ごみ排出量 (単位/g)	1,070	1,050	1,045
				1,212	1,140	1,145

※事務事業名の順番は、実施計画体系一覧に合わせてください。

※従として関連する事業は従欄に☆を記載してください。

第1次評価	評価者所属・職・氏名 市民部 市民生活課 課長 佐藤哲朗	評価年月日 平成31年2月21日			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>評価理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 極めて良好である <input type="checkbox"/> 良好である <input checked="" type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある </td> <td> <p>ごみ排出量の基準年21年度は、年間排出量がその前後と比べ約4%少ない年度であるにもかかわらず、29年度はそこから約5%（297t）減少しているが、1人1日当たりのごみ排出量としては目標値を下回っている。しかし、第2次実施計画以降は減少傾向にあり、現在の分別収集方法は市民に浸透し安定した状況と判断したため。また、目標値を下回っているもののリサイクル率は、資源ごみの分別収集や団体回収の実施によりリサイクルを進めていることから上昇してきており、同じく下回っている不法投棄回収量は、監視カメラ、啓発看板の設置及びパトロールの実施等が不法投棄防止に一定の効果があると思われ、減少傾向にあるため。</p> </td> </tr> </tbody> </table>		評価	評価理由	<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input type="checkbox"/> 良好である <input checked="" type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある
評価	評価理由				
<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input type="checkbox"/> 良好である <input checked="" type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある	<p>ごみ排出量の基準年21年度は、年間排出量がその前後と比べ約4%少ない年度であるにもかかわらず、29年度はそこから約5%（297t）減少しているが、1人1日当たりのごみ排出量としては目標値を下回っている。しかし、第2次実施計画以降は減少傾向にあり、現在の分別収集方法は市民に浸透し安定した状況と判断したため。また、目標値を下回っているもののリサイクル率は、資源ごみの分別収集や団体回収の実施によりリサイクルを進めていることから上昇してきており、同じく下回っている不法投棄回収量は、監視カメラ、啓発看板の設置及びパトロールの実施等が不法投棄防止に一定の効果があると思われ、減少傾向にあるため。</p>				

現在の問題や課題・施策を取り巻く環境の変化
<p>ごみ収集時の不適切なごみ排出に対しては、警告シールを貼り回収しない等対策を行っているが、大きな改善は見られない。</p> <p>ごみ収集量は、ごみの減量化とリサイクル促進のため平成26年4月から雑がみ類の回収無料化等に取り組み、「燃やせるごみ」が減少傾向になるなど一定の効果があると思われるが、資源ごみ団体回収は、実施団体数・回収量とも減少傾向にある。</p> <p>不法投棄については、場所、人と対象範囲を特定できるものではなく対策に苦慮しているところであるが、27年度に監視カメラを導入し重点箇所を設置するなど対策の効果があると思われ、テレビ等の大きなものは減少しているものの、ポイ捨て等は相変わらず行われている状況である。</p>

今後の方向性・改善策
<p>ごみの分別排出の徹底や資源ごみ団体回収の積極的な実施・参加について、広報・ホームページでの周知のほか、砂川市衛生組合と連携のもと年2回開催される「衛生支部長会議」や町内会回覧等を通じて市民に重ねて周知するなど、ごみ分別やリサイクルに対する意識を高め、ごみの減量化を引き続き行うとともに、ごみの正しい分別方法や出し方などの理解を深めることで、不適切なごみの排出の減少とリサイクル率向上の必要がある。</p> <p>不法投棄防止については、快適な生活環境を守るため引き続き市民に周知・協力を求めるとともに、監視カメラ、啓発看板の設置及びパトロールの実施等により効果的な啓発を行う必要がある。</p>

第2次評価	評価者所属・職・氏名 市民部長 峯田和興	評価年月日 平成31年2月22日			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>評価理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 極めて良好である <input type="checkbox"/> 良好である <input checked="" type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある </td> <td> <p>基本事業の成果について、中間年度である平成27年度は、総じて目標値を下回っていたが、平成29年度実績値では、改善が見られ目標値に近づいていること、ごみ年間排出量は減少している中で、資源ごみの割合が増加しており、市民のごみ適正処理が図られてきていることなどから普通であるとした。</p> </td> </tr> </tbody> </table>		評価	評価理由	<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input type="checkbox"/> 良好である <input checked="" type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある
評価	評価理由				
<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input type="checkbox"/> 良好である <input checked="" type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある	<p>基本事業の成果について、中間年度である平成27年度は、総じて目標値を下回っていたが、平成29年度実績値では、改善が見られ目標値に近づいていること、ごみ年間排出量は減少している中で、資源ごみの割合が増加しており、市民のごみ適正処理が図られてきていることなどから普通であるとした。</p>				

最終評価	評価者 部長職（総合計画策定委員）で構成する施策評価チーム	評価年月日 平成31年3月27日			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>評価理由及び意見</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 極めて良好である <input type="checkbox"/> 良好である <input type="checkbox"/> 普通である <input checked="" type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある </td> <td> <p>ごみの適正処理とリサイクルの推進に向けては、ごみ分別排出の徹底や資源ごみ団体回収の奨励について、広報紙や市ホームページ、町内会回覧などで広く周知をしているほか、不法投棄対策では、監視カメラや啓発看板を設置し対応しており、また、平成26年4月からは、雑がみ類の回収無料化に取り組んできたところであるが、基本事業における1人1日当たりのごみ排出量、リサイクル率については、目標値を大きく下回り、その成果に繋がっていないことから「問題がある」と評価した。ごみを減量することは、ごみ負担経費削減にもつながる重要な取組みであることから、成果に繋がっていない原因等の分析を行い、有効な対策を検討し実施する必要がある。</p> </td> </tr> </tbody> </table>		評価	評価理由及び意見	<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input type="checkbox"/> 良好である <input type="checkbox"/> 普通である <input checked="" type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある
評価	評価理由及び意見				
<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input type="checkbox"/> 良好である <input type="checkbox"/> 普通である <input checked="" type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある	<p>ごみの適正処理とリサイクルの推進に向けては、ごみ分別排出の徹底や資源ごみ団体回収の奨励について、広報紙や市ホームページ、町内会回覧などで広く周知をしているほか、不法投棄対策では、監視カメラや啓発看板を設置し対応しており、また、平成26年4月からは、雑がみ類の回収無料化に取り組んできたところであるが、基本事業における1人1日当たりのごみ排出量、リサイクル率については、目標値を大きく下回り、その成果に繋がっていないことから「問題がある」と評価した。ごみを減量することは、ごみ負担経費削減にもつながる重要な取組みであることから、成果に繋がっていない原因等の分析を行い、有効な対策を検討し実施する必要がある。</p>				

第6期総合計画施策評価

基本目標	1	人と環境にやさしいうるおいのあるまち
基本施策	2	衛生的で快適な生活環境を守るまちづくり

基本施策の目標

環境の美化や公害の防止などにより、誰もが衛生的で快適に暮らすことができるまちを目指します。

基本事業の成果指標

基本事業	指標名	単位	(H21)	(H27)			(H29)	(H32)
			現状値	中間目標値	実績値	評価	実績値	最終目標値
①	美化活動参加者数	人/年	241	250	225	E	257	260
②	し尿処理対応率	%	100	100	100	A	100	100
③	墓地需要対応率	%	100	100	100	A	100	100
④	生活公害に関する苦情件数	件/年	2	0	0	A	0	0

関連事務事業の実績値

基本事業	従	事務事業名	成果指標名	H25計画値	H28計画値	H29計画値
				H25実績値	H28実績値	H29実績値
①		環境衛生美化推進事業	勧告に対する雑草処理の割合 (単位/%)	100	100	100
				75	59	65
①		衛生組合支援事業	美化活動参加者数 (単位/人)	240	252	254
				231	250	257
②		し尿収集処理事業	し尿収集量 (単位/kl)	1,155	1,125	1,115
				1,056	1,023	973
④		公害防止対策事業	生活公害に関する苦情 (単位/件)	0	0	0
				0	0	0

※事務事業名の順番は、実施計画体系一覧に合わせてください。

※従として関連する事業は従欄に☆を記載してください。

第1次評価	評価者所属・職・氏名 市民部 市民生活課 課長 佐藤哲朗	評価年月日 平成31年2月21日		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>評価理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 極めて良好である <input checked="" type="checkbox"/> 良好である <input type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある </td> <td> <p>し尿処理対応率、墓地需要対応率及び生活公害に関する苦情件数は、最終目標値を達成し衛生的な生活環境が守られており、また美化活動参加者数についても最終目標値をほぼ達成し、砂川市衛生組合や各町内会等との連携により多くの市民に参加いただき河川清掃や道路清掃などの取り組みが活発に行われており、環境美化が図られているため。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	評価	評価理由	<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input checked="" type="checkbox"/> 良好である <input type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある
評価	評価理由			
<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input checked="" type="checkbox"/> 良好である <input type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある	<p>し尿処理対応率、墓地需要対応率及び生活公害に関する苦情件数は、最終目標値を達成し衛生的な生活環境が守られており、また美化活動参加者数についても最終目標値をほぼ達成し、砂川市衛生組合や各町内会等との連携により多くの市民に参加いただき河川清掃や道路清掃などの取り組みが活発に行われており、環境美化が図られているため。</p>			

現在の問題や課題・施策を取り巻く環境の変化
<p>管理不良状態な空き地については、現地を確認し土地所有者に期限を定めて雑草等の除去を依頼しているが、草刈り未実施の空き地がなくなる状況である。</p> <p>墓地については、少子高齢化や核家族化など社会構造の変化により、親族によるお墓の維持管理や継承、または経済的な理由からお墓の建立が困難な方のために、平成30年に北吉野墓地内に合同墓を整備し、供用開始している。</p>

今後の方向性・改善策
<p>快適な生活環境を守るため、今後も砂川市衛生組合や各町内会等との連携のもと環境美化活動を推進し、町内会・事業所及び各団体により多くの参加を呼びかけるとともに、町内会・職場・学校等による公用ごみ袋を使用したごみ拾いなどの自主的な清掃ボランティア活動の活発化に向け衛生支部長会議等で周知を引き続き行い、また、管理不良な状態の空き地対策については、土地所有者に対する草刈り依頼方法の検討などを更に行うなど環境美化を図っていく必要がある。</p>

第2次評価	評価者所属・職・氏名 市民部長 峯田和興	評価年月日 平成31年2月22日		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>評価理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 極めて良好である <input checked="" type="checkbox"/> 良好である <input type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある </td> <td> <p>基本事業の成果指標のうち美化活動参加者数は、中間年度である平成27年度は、目標値を下回っていたが、平成29年度では、目標値をほぼ達成しており、他の基本事業においては、既に最終目標値を達成していることから良好であるとした。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	評価	評価理由	<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input checked="" type="checkbox"/> 良好である <input type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある
評価	評価理由			
<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input checked="" type="checkbox"/> 良好である <input type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある	<p>基本事業の成果指標のうち美化活動参加者数は、中間年度である平成27年度は、目標値を下回っていたが、平成29年度では、目標値をほぼ達成しており、他の基本事業においては、既に最終目標値を達成していることから良好であるとした。</p>			

最終評価	評価者 部長職(総合計画策定委員)で構成する施策評価チーム	評価年月日 平成31年3月27日		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>評価理由及び意見</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 極めて良好である <input type="checkbox"/> 良好である <input checked="" type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある </td> <td> <p>衛生的で快適な生活環境について、砂川市衛生組合や各町内会等との連携により、河川や道路の清掃などの取り組みを積極的に進め環境美化が図られており、基本事業に設定された指標は、社会構造の変化に対応し合同墓を整備するなど墓地需要対応率を始め、目標値を達成している指標もあるが、市民の関心が高い環境衛生美化推進事業の勧告に対する雑草処理の割合については、空き地が増えていることや相続放棄などにより所有者把握における問題もあり計画値との乖離も大きいことから「普通である」と評価した。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	評価	評価理由及び意見	<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input type="checkbox"/> 良好である <input checked="" type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある
評価	評価理由及び意見			
<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input type="checkbox"/> 良好である <input checked="" type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある	<p>衛生的で快適な生活環境について、砂川市衛生組合や各町内会等との連携により、河川や道路の清掃などの取り組みを積極的に進め環境美化が図られており、基本事業に設定された指標は、社会構造の変化に対応し合同墓を整備するなど墓地需要対応率を始め、目標値を達成している指標もあるが、市民の関心が高い環境衛生美化推進事業の勧告に対する雑草処理の割合については、空き地が増えていることや相続放棄などにより所有者把握における問題もあり計画値との乖離も大きいことから「普通である」と評価した。</p>			

第6期総合計画施策評価

基本目標	1	人と環境にやさしいうるおいのあるまち
基本施策	3	地球環境や人にやさしいまちづくり

基本施策の目標

限りある資源を大切に、市民とともに省エネルギーや新エネルギーの活用を推進することで環境負荷の低減を図り、地球温暖化防止に取り組むまちを目指します。

基本事業の成果指標

基本事業	指標名	単位	(H21)	(H27)			(H29)	(H32)
			現状値	中間目標値	実績値	評価	実績値	最終目標値
①	市の事務事業に伴う二酸化炭素排出量	t/年	8,325	7,900	12,139	E	11,981	7,500
②	住宅用太陽光発電システム設置数	(延)基	2	12	40	A	44	22
②	長期優良住宅戸数	(延)戸	2	8	24	A	29	13

関連事務事業の実績値

基本事業	従	事務事業名	成果指標名	H25計画値	H28計画値	H29計画値
				H25実績値	H28実績値	H29実績値
①		地球温暖化防止推進事業	市の事務事業に伴う二酸化炭素排出量 (単位/t)	8,040	7,820	7,740
				12,605	13,675	11,981
①	☆	ごみ分別収集推進事業	間違っ出されたごみ件数 (単位/件)	4,140	3,930	3,860
				4,636	4,058	4,695
①	☆	環境保全型農業直接支払交付金事業	交付対象面積 (単位/ha)	560	1,026	1,026
				748	5,237	6,605
①	☆	公的分収林整備推進事業	除間伐実施面積 (単位/ha)	-	5.8	-
				-	-	0.0
①	☆	未来につなぐ森づくり推進事業	施業面積(造林) (単位/ha)	1.0	1.0	3.77
				3.3	0.0	3.77
①	☆	街路灯(LED)整備事業	設置率 (単位/%)	18.6	46.4	57.7
				18.6	46.4	55.7
②		太陽光発電普及促進事業	住宅用太陽光発電システムの延べ設置基数 (単位/基/延)	8	14	16
				20	36	38

※事務事業名の順番は、実施計画体系一覧に合わせてください。

※従として関連する事業は従欄に☆を記載してください。

第1次評価	評価者所属・職・氏名 市民部 市民生活課 課長 佐藤哲朗 建設部 建築住宅課 課長 金丸秀樹	評価年月日 平成31年2月18日		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>評価理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 極めて良好である <input type="checkbox"/> 良好である <input checked="" type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある </td> <td> <p>市の事務事業に伴うCO₂排出量の目標値については「砂川市地球温暖化対策職員行動計画（H28～32年度）の前期計画（H23～27年度）に基づき設定しており、市立病院の改築や排出量の係数上昇などから、実績値が計画値を大きく上回っているが、ほとんどが市立病院によるもので、29年度は、これらを反映した現計画の32年度目標値である11,611t程度まで減少しており、施設の約4割は削減率5%を達成している。</p> <p>その他の指標名に係る実績値については、既に最終目標値を大きく上回っている。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	評価	評価理由	<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input type="checkbox"/> 良好である <input checked="" type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある
評価	評価理由			
<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input type="checkbox"/> 良好である <input checked="" type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある	<p>市の事務事業に伴うCO₂排出量の目標値については「砂川市地球温暖化対策職員行動計画（H28～32年度）の前期計画（H23～27年度）に基づき設定しており、市立病院の改築や排出量の係数上昇などから、実績値が計画値を大きく上回っているが、ほとんどが市立病院によるもので、29年度は、これらを反映した現計画の32年度目標値である11,611t程度まで減少しており、施設の約4割は削減率5%を達成している。</p> <p>その他の指標名に係る実績値については、既に最終目標値を大きく上回っている。</p>			

現在の問題や課題・施策を取り巻く環境の変化
<p>市の事務事業に伴うCO₂排出量の目標値は、市立病院改築による施設規模の増大や、泊原発の完全停止に伴う火力発電の稼働率上昇などにより、排出量の係数が上昇するなど、総合計画策定後に計画値の基となる行動計画の数値が変更となっても、計画値は当初のままで固定となっているため、実績値との乖離が大きく、施設の5割以上で排出量が削減されているが評価としては低くなる。</p> <p>住宅用太陽光発電システム設置数と長期優良住宅戸数に係る実績値については、市民の自然環境保全に関する意識向上や市の助成制度が動機付けとなるなど良好な状況にある。</p>

今後の方向性・改善策
<p>市の事務事業に伴うCO₂排出量の目標値は、計画期間33～37年度の次期行動計画をもとに設定することから、市役所新庁舎建設による影響を見込んだ計画に見直す必要があるとともに、引き続き市民に対し地球温暖化対策に係る啓発を行う必要がある。</p> <p>住宅用太陽光発電システムについては、電力会社の買い取り価格が段階的に安価となったこともあり、近年、少ない設置数で横ばい状況であり、長期優良住宅については、耐震性、耐久性、省エネ性に優れた住宅であることが認知され、建設に際して施主の検討項目のひとつとなっているため、特に動機付けとなるような助成制度が不可欠であることから、制度を継続するとともに、今後も適宜、見直しや拡充を図ることが必要である。</p>

第2次評価	評価者所属・職・氏名 市民部長 峯田和興 建設部長 湯浅克己	評価年月日 平成31年2月21日		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>評価理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 極めて良好である <input type="checkbox"/> 良好である <input checked="" type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある </td> <td> <p>市の事務事業に伴う二酸化炭素排出量は、市立病院の改築による影響や排出量の係数上昇などから、目標値を下回っているが、平成29年度の実績値では、「砂川市地球温暖化対策職員行動計画」の目標排出量に近づいていること、住宅用太陽光発電システム設置数と長期優良住宅戸数は、既に最終目標値を上回っていることから普通であるとした。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	評価	評価理由	<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input type="checkbox"/> 良好である <input checked="" type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある
評価	評価理由			
<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input type="checkbox"/> 良好である <input checked="" type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある	<p>市の事務事業に伴う二酸化炭素排出量は、市立病院の改築による影響や排出量の係数上昇などから、目標値を下回っているが、平成29年度の実績値では、「砂川市地球温暖化対策職員行動計画」の目標排出量に近づいていること、住宅用太陽光発電システム設置数と長期優良住宅戸数は、既に最終目標値を上回っていることから普通であるとした。</p>			

最終評価	評価者 部長職（総合計画策定委員）で構成する施策評価チーム	評価年月日 平成31年3月27日		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>評価理由及び意見</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 極めて良好である <input type="checkbox"/> 良好である <input checked="" type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある </td> <td> <p>地球温暖化防止について、基本事業の指標である住宅用太陽光発電システム設置数や長期優良住宅戸数は、助成制度の動機付けなどにより既に最終目標値を上回り市民の自然環境保全に関する意識向上を担っているが、市の事務事業に伴う二酸化炭素排出量は、市立病院改築による施設規模の増大や火力発電所の稼働率上昇により電力の排出係数が上がったことにより目標から大きく下回っているが、平成29年度の実績値では、「砂川市地球温暖化対策職員行動計画」の目標排出量に近づいていることなどから「普通である」と評価した。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	評価	評価理由及び意見	<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input type="checkbox"/> 良好である <input checked="" type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある
評価	評価理由及び意見			
<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input type="checkbox"/> 良好である <input checked="" type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある	<p>地球温暖化防止について、基本事業の指標である住宅用太陽光発電システム設置数や長期優良住宅戸数は、助成制度の動機付けなどにより既に最終目標値を上回り市民の自然環境保全に関する意識向上を担っているが、市の事務事業に伴う二酸化炭素排出量は、市立病院改築による施設規模の増大や火力発電所の稼働率上昇により電力の排出係数が上がったことにより目標から大きく下回っているが、平成29年度の実績値では、「砂川市地球温暖化対策職員行動計画」の目標排出量に近づいていることなどから「普通である」と評価した。</p>			

第6期総合計画施策評価

基本目標	1	人と環境にやさしいうるおいのあるまち
基本施策	4	安全で安心して暮らせるまちづくり

基本施策の目標

交通安全施設や防犯灯などの生活環境を整えながら、市民の交通安全意識や防犯意識を高めることで、地域の安全と安心が守られた住みよいまちを目指します。

基本事業の成果指標

基本事業	指標名	単位	(H21)	(H27)			(H29)	(H32)
			現状値	中間目標値	実績値	評価	実績値	最終目標値
①	交通安全啓発活動参加者数	人/年	3,100	3,300	4,329	A	4,223	3,500
②	交通事故発生件数	件/年	47	40	39	A	41	30
③	防犯活動参加者数	人/年	1,000	1,100	1,194	A	961	1,200
④	自主防犯組織数	(延)団体	5	10	9	B	10	15
⑤	消費者相談の件数	件/年	21	25	28	A	21	30

関連事務事業の実績値

基本事業	従	事務事業名	成果指標名	H25計画値	H28計画値	H29計画値
				H25実績値	H28実績値	H29実績値
①		交通安全団体支援事業	活動実績 (単位/日)	330	330	330
				331	332	331
①		交通安全啓発事業	交通事故発生件数 (暦年) (単位/件)	44	38	36
				44	38	41
①		運転免許証自主返納サポート事業	交通事故発生件数 (暦年) (単位/件)	—	—	36
				—	—	41
②		交通安全施設整備事業	交通事故発生件数 (暦年) (単位/件)	44	38	36
				44	38	41
②	☆	市立病院周辺環境整備事業	事業実施率 (単位/%)	50.0	75.0	75.0
				50.0	50.0	75.0
③		防犯協会支援事業	犯罪発生件数 (単位/件)	130	127	126
				143	137	96
④		防犯灯設置・維持費助成事業	維持費補助対象防犯灯数 (単位/灯)	1,529	1,529	1,529
				1,583	1,633	1,604

※事務事業名の順番は、実施計画体系一覧に合わせてください。

※従として関連する事業は従欄に☆を記載してください。

第1次評価	評価者所属・職・氏名 市民部市民生活課 課長 佐藤哲朗	評価年月日 平成31年2月18日		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>評価理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 極めて良好である <input checked="" type="checkbox"/> 良好である <input type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある </td> <td> <p>23年度から新たに一斉旗の波運動、27年度からは飲酒運転を一つの要因とする重大な死亡交通事故を受け飲酒運転撲滅を掲げ、新たな交通安全啓発活動を関係団体等と連携を図り実施するとともに、29年度からは運転免許証自主返納サポート事業に取り組むなど交通安全意識の向上を図っているため。また、25年度に町内会が維持管理する防犯灯を市がLED化後も、設置・維持費の助成を実施し安全な環境整備と防犯意識の向上に取り組んでいるほか、消費者相談を24年度から砂川消費者協会に委託し相談体制の充実を図り、被害未然防止に努めているため。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	評価	評価理由	<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input checked="" type="checkbox"/> 良好である <input type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある
評価	評価理由			
<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input checked="" type="checkbox"/> 良好である <input type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある	<p>23年度から新たに一斉旗の波運動、27年度からは飲酒運転を一つの要因とする重大な死亡交通事故を受け飲酒運転撲滅を掲げ、新たな交通安全啓発活動を関係団体等と連携を図り実施するとともに、29年度からは運転免許証自主返納サポート事業に取り組むなど交通安全意識の向上を図っているため。また、25年度に町内会が維持管理する防犯灯を市がLED化後も、設置・維持費の助成を実施し安全な環境整備と防犯意識の向上に取り組んでいるほか、消費者相談を24年度から砂川消費者協会に委託し相談体制の充実を図り、被害未然防止に努めているため。</p>			

現在の問題や課題・施策を取り巻く環境の変化
<p>道内及び管内でも頻繁に発生しているオレオレ詐欺、架空請求詐欺などの特殊詐欺については、都度広報すながわや市ホームページ等により周知に努めているが、手を変え品を変え新しい手口が出てくることから、知識の向上と被害防止に係る取組についての普及啓発が課題となる。</p>

今後の方向性・改善策
<p>交通安全活動や防犯活動については、市民の交通安全意識や防犯意識の定着が必要であるが、地道な啓発活動を息長く継続することで意識の定着が図られていくと考えることから、今後においても市民や警察署をはじめとする関係機関等と連携・協力のもと、啓発活動を継続していく必要がある。</p>

第2次評価	評価者所属・職・氏名 市民部長 峯田和興	評価年月日 平成31年2月21日		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>評価理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 極めて良好である <input checked="" type="checkbox"/> 良好である <input type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある </td> <td> <p>交通安全運動や防犯対策については、これまで様々な取り組みを実施し、市民の交通安全意識や防犯意識の定着が図られ、基本事業の成果指標においても、目標値を上回っているあるいは近づいている状況であり、良好であるとした。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	評価	評価理由	<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input checked="" type="checkbox"/> 良好である <input type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある
評価	評価理由			
<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input checked="" type="checkbox"/> 良好である <input type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある	<p>交通安全運動や防犯対策については、これまで様々な取り組みを実施し、市民の交通安全意識や防犯意識の定着が図られ、基本事業の成果指標においても、目標値を上回っているあるいは近づいている状況であり、良好であるとした。</p>			

最終評価	評価者 部長職(総合計画策定委員)で構成する施策評価チーム	評価年月日 平成31年3月27日		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>評価理由及び意見</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 極めて良好である <input checked="" type="checkbox"/> 良好である <input type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある </td> <td> <p>交通安全や防犯活動について、従前から一斉旗の波運動、砂川消費者協会へ委託による消費相談充実、防犯灯のLED化や設置・維持費の助成など様々な取り組みを実施してきたが、特に、平成27年度の飲酒運転を一つの起因とする重大な死亡交通事故を受け、飲酒運転撲滅対策を強化するなか、防犯カメラの設置や飲酒運転撲滅集会の開催などで、市民の交通安全意識や防犯意識の定着が図られ、基本事業の指標においても現在のところほとんど目標値を上回っていることから、「良好である」と評価した。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	評価	評価理由及び意見	<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input checked="" type="checkbox"/> 良好である <input type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある
評価	評価理由及び意見			
<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input checked="" type="checkbox"/> 良好である <input type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある	<p>交通安全や防犯活動について、従前から一斉旗の波運動、砂川消費者協会へ委託による消費相談充実、防犯灯のLED化や設置・維持費の助成など様々な取り組みを実施してきたが、特に、平成27年度の飲酒運転を一つの起因とする重大な死亡交通事故を受け、飲酒運転撲滅対策を強化するなか、防犯カメラの設置や飲酒運転撲滅集会の開催などで、市民の交通安全意識や防犯意識の定着が図られ、基本事業の指標においても現在のところほとんど目標値を上回っていることから、「良好である」と評価した。</p>			

第6期総合計画施策評価

基本目標	1	人と環境にやさしいうるおいのあるまち
基本施策	5	消防・救急体制の充実したまちづくり

基本施策の目標

市民の尊い生命、身体及び財産を守るため、消防・救急体制の充実・強化を図るとともに、応急処置などの普及啓発や防火に対する意識を高め、市民が安心して生活できるまちを目指します。

基本事業の成果指標

基本事業	指標名	単位	(H21)	(H27)			(H29)	(H32)
			現状値	中間目標値	実績値	評価	実績値	最終目標値
①	住宅用火災警報器の設置率	%	56.3	100	89.8	C	89.8	100
②	消防水利数	基	310	315	307	E	309	320
③	救命講習受講者数	人	382	450	418	C	561	500

関連事務事業の実績値

基本事業	従	事務事業名	成果指標名	H25計画値	H28計画値	H29計画値
				H25実績値	H28実績値	H29実績値
①		防火活動団体支援事業	平均出席率 (単位/%)	75	90	95
				64.9	58	58.1
①		火災予防推進事業	火災発生件数 (単位/件)	5	2	1
				3	5	8
①		事業所立入検査及び防火安全指導事業	改善が図られた施設数の割合 (単位/%)	30	60	70
				35	32	29
①		住宅用火災警報器普及推進事業	警報機設置世帯割合 (単位/%)	84	100	100
				89.8	89.8	89.8
②		消防庁舎暖房設備更新事業	暖房設備改修基数 (単位/基)	—	—	—
				—	—	—
②		消防車両更新・増強事業	増強及び更新した消防車両の台数 (単位/台)	1台	1台	1台
				0台	0台	1台
②		消火栓設置事業	消防水利充足数 (単位/%)	73.7	74.5	74.7
				71.8	71	71.2

※事務事業名の順番は、実施計画体系一覧に合わせてください。

※従として関連する事業は従欄に☆を記載してください。

第1次評価	評価者所属・職・氏名 砂川地区広域消防組合消防本部 総務課長 袖野款司	評価年月日 平成31年3月15日		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>評価理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 極めて良好である <input type="checkbox"/> 良好である <input checked="" type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある </td> <td> <p>指標ごとに評価すると、上昇していた住宅用火災警報器の設置率はH27以降停滞の様を呈し、消防水利数にあっても年間8基の更新、1基の新設を計画的に行っているが、道路拡張工事等での撤去等も重なり計画どおりに充足率が上がらない現況。救命講習については、近年、市内中高生の受講数増や企業全体での受講増により目標値を上回る状況となっており、市内全体の普及率はかなり高まっていると考えられる。各関連事業等、計画値に達していない部分もみられるが、H21現状値と比較し、一定の成果は見られることから普通と評する。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	評価	評価理由	<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input type="checkbox"/> 良好である <input checked="" type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある
評価	評価理由			
<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input type="checkbox"/> 良好である <input checked="" type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある	<p>指標ごとに評価すると、上昇していた住宅用火災警報器の設置率はH27以降停滞の様を呈し、消防水利数にあっても年間8基の更新、1基の新設を計画的に行っているが、道路拡張工事等での撤去等も重なり計画どおりに充足率が上がらない現況。救命講習については、近年、市内中高生の受講数増や企業全体での受講増により目標値を上回る状況となっており、市内全体の普及率はかなり高まっていると考えられる。各関連事業等、計画値に達していない部分もみられるが、H21現状値と比較し、一定の成果は見られることから普通と評する。</p>			

現在の問題や課題・施策を取り巻く環境の変化
<p>住宅用火災警報器は設置の義務化から10年以上が経過し、内部電池の期限切れや経年劣化による機器本体の不良が危惧される時期に差し掛かっている状況である。救命講習受講者の普及については、再講習の目安期間として設定している2年毎に定期的に受講する優良事業所が増加、また学生にあっても高校2年次・中学2年次を目途に定期的に受講申請がなされている。関連事務事業にあつては、防火活動団体自体の構成員の高齢化が進んでおり、継ぐ担い手が不足している状況。平成30年度から追加拡充となった消防庁舎暖房設備更新事業については、現行基準では地方債の適用外となり、大規模改修により莫大な経費を要することから財源確保に苦慮していたが、新たな借入先により平成31年度に計画完了の見込みとなり、向こう20年は現庁舎を地域の防災拠点施設として活用できる見通しが立った。</p>

今後の方向性・改善策
<p>住宅用火災警報器普及推進や防火活動団体支援等、火災予防の推進に係る事業は広報誌やホームページ等を活用した広報活動を基盤に実施されてきており、一定の成果が見られているが、時代・環境の変化に敏感に呼応し最も周知能力の高い手法を模索していかなければならない。消防体制の充実に係る事業については、消火栓設置事業において計画どおり設置数が伸びない理由として、新設(年1基)に対して同等に老朽化により廃棄せざるを得ない基数が発生、または道路拡張等により半強制撤去が突発的に生じていることがあるが、更新(年8基)を併せて行っていることから消火栓本体の信頼性は年々確実に向上しており、指標に表れない大きな成果があると見られ、費用対効果(新設1基約200万円)を考慮した上で、現行ペースで事業を継続していくのが望ましい。さらに車両更新事業においては、平成32年度から第1出動車両である「はやぶさ号」、「水槽車」、「高規格救急車」の更新計画が控えており、購入に要する経費以上の住民サービスが可能となるような機種選定や専用資機材の調達に努めていかなければならない。</p>

第2次評価	評価者所属・職・氏名 砂川地区広域消防組合消防本部 消防長 青木 治	評価年月日 平成31年3月19日		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>評価理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 極めて良好である <input type="checkbox"/> 良好である <input checked="" type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある </td> <td> <p>消防・救急体制の充実に係る事業にあつては一定の成果が見られ、第6期施策によって当市の消防力は確実に向上していると判断する。特に近年、高度化の進む救急分野において成果が大きく見られたことは評価され、女性消防団員を救命講習の指導員として養成し、職員外の者が携わる形態にする等の拡充が大きく作用したものと考える。しかし、重要な火災発生件数等においては年毎に推移はあるが、顕著に減少傾向にあるとは言えず、施策総合的には普通であると評価する。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	評価	評価理由	<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input type="checkbox"/> 良好である <input checked="" type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある
評価	評価理由			
<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input type="checkbox"/> 良好である <input checked="" type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある	<p>消防・救急体制の充実に係る事業にあつては一定の成果が見られ、第6期施策によって当市の消防力は確実に向上していると判断する。特に近年、高度化の進む救急分野において成果が大きく見られたことは評価され、女性消防団員を救命講習の指導員として養成し、職員外の者が携わる形態にする等の拡充が大きく作用したものと考える。しかし、重要な火災発生件数等においては年毎に推移はあるが、顕著に減少傾向にあるとは言えず、施策総合的には普通であると評価する。</p>			

最終評価	評価者 部長職(総合計画策定委員)で構成する施策評価チーム	評価年月日 平成31年3月27日		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>評価理由及び意見</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 極めて良好である <input type="checkbox"/> 良好である <input checked="" type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある </td> <td> <p>救急体制や住宅用火災警報器設置率等の高い実績値により成果の見られる事業は確認できる。また消防水利の充足においては市内の住宅事情等によって目標値自体が推移することが考慮され、水利総数の向上より必要水利数の更新・維持事業として実施する方が望ましいと考える。火災予防関連、特に防火安全指導事業における違反物件の改善率が低数値で、さらに計画期間において下降傾向にあることは大きく懸念される事項であり、改善の取組みに急務を要することから、「普通である」と評価した。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	評価	評価理由及び意見	<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input type="checkbox"/> 良好である <input checked="" type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある
評価	評価理由及び意見			
<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input type="checkbox"/> 良好である <input checked="" type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある	<p>救急体制や住宅用火災警報器設置率等の高い実績値により成果の見られる事業は確認できる。また消防水利の充足においては市内の住宅事情等によって目標値自体が推移することが考慮され、水利総数の向上より必要水利数の更新・維持事業として実施する方が望ましいと考える。火災予防関連、特に防火安全指導事業における違反物件の改善率が低数値で、さらに計画期間において下降傾向にあることは大きく懸念される事項であり、改善の取組みに急務を要することから、「普通である」と評価した。</p>			

第6期総合計画施策評価

基本目標	1	人と環境にやさしいうるおいあるまち
基本施策	6	防災意識の高いまちづくり

基本施策の目標

市民の防災意識の向上を図るとともに、自主的な防災活動を促進し、災害時に地域ぐるみで対応できる防災体制の整ったまちを目指します。

基本事業の成果指標

基本事業	指標名	単位	(H21)	(H27)			(H29)	(H32)
			現状値	中間目標値	実績値	評価	実績値	最終目標値
①	地域防災訓練参加者数	(延)人	100	700	947	A	1,220	1,200
②	自主防災組織数	(延)町内会	5	10	8	C	11	15

関連事務事業の実績値

基本事業	従	事務事業名	成果指標名	H25計画値	H28計画値	H29計画値
				H25実績値	H28実績値	H29実績値
①		災害対策事業	訓練参加者数 (単位/人/延)	550	800	900
				630	1,072	1,220
②		防災備蓄品整備事業	災害時における 備蓄品供給回数	-	1	1
				-	1	0
②	☆	災害対策事業	自主防災組織数 (単位/町内会)	8	11	12
				6	8	11

※事務事業名の順番は、実施計画体系一覧に合わせてください。

※従として関連する事業は従欄に☆を記載してください。

第1次評価	評価者所属・職・氏名 市長公室課長 安原 雄二	評価年月日 平成31年2月15日		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>評価理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 極めて良好である <input checked="" type="checkbox"/> 良好である <input type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある </td> <td>平成21年度から継続実施している地域防災訓練も平成30年度の海洋センターが11箇所目の開催であり延べ人数1,632人に達した。この数字は最終目標値1,200人を越えた数値である。また、自主防災組織数は平成30年度現在11組織であり、中間目標値を越え最終目標値に4つ足りない状況であることから「良好である」と評価した。</td> </tr> </tbody> </table>	評価	評価理由	<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input checked="" type="checkbox"/> 良好である <input type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある
評価	評価理由			
<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input checked="" type="checkbox"/> 良好である <input type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある	平成21年度から継続実施している地域防災訓練も平成30年度の海洋センターが11箇所目の開催であり延べ人数1,632人に達した。この数字は最終目標値1,200人を越えた数値である。また、自主防災組織数は平成30年度現在11組織であり、中間目標値を越え最終目標値に4つ足りない状況であることから「良好である」と評価した。			

現在の問題や課題・施策を取り巻く環境の変化
<p>平成28年に35年ぶりの避難勧告を発令し、その後、自主避難所を含め毎年のように避難所を開設している状況である。確実に6期総合計画策定時には想定されていなかった災害が頻繁に発生しています。</p> <p>平成23年の東日本大震災以降、住民の防災に関する公助(市)への要求は高まるばかりですが、自助・共助の必要性が住民には十分に理解されていません。</p> <p>平成31年度の公民館での地域防災訓練を実施すると、全ての避難所での訓練を終了することとなります。地域力UP講座では2年連続で防災に関する講義とワークショップを行っていますが、受講人数も多く、市民からアンケート結果でも好評を得ています。従来型の防災訓練は総合的に数年に一度の開催や、自助・共助の必要性、図上訓練などを市民と一緒にできる訓練・講義を考える時期に来ていると考えられる。</p>

今後の方向性・改善策
<p>地域防災訓練は上に記したが、自主防災組織の組織数を増加させるためには、設立した町内会に対してある程度のインセンティブを与えることが必要だと考えられます。地域コミュニティ活動支援補助金を活用し、備蓄品や備品を購入する町内会への助成を実施することにより、自主防災組織に設立の機運を高め、共助の必要性を理解して頂くためにも自主防災組織を増加させる取り組みを砂川地区消防組合と連携し進めていくことが必要であります。</p>

第2次評価	評価者所属・職・氏名 総務部長 熊崎 一弘	評価年月日 平成31年2月28日		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>評価理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 極めて良好である <input checked="" type="checkbox"/> 良好である <input type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある </td> <td>地域の防災意識の向上を図るため実施している、防災訓練には、地域住民が災害の際に誤りのない行動をとってもらおうよう実施しているものであり、地域住民参加が相対的に低い。地域住民の実質参加が増えるよう手立てが必要。しかし、訓練は防災意識の向上には、役立っている。また、自主防災組織も順調に増加しているが、さらに意識付けしながら、より多くの防災組織の結成が求められる。「自主防災組織の結成数」がクリアしていないが、順調に加入数が伸びていることから、「良好である」と評価した。</td> </tr> </tbody> </table>	評価	評価理由	<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input checked="" type="checkbox"/> 良好である <input type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある
評価	評価理由			
<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input checked="" type="checkbox"/> 良好である <input type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある	地域の防災意識の向上を図るため実施している、防災訓練には、地域住民が災害の際に誤りのない行動をとってもらおうよう実施しているものであり、地域住民参加が相対的に低い。地域住民の実質参加が増えるよう手立てが必要。しかし、訓練は防災意識の向上には、役立っている。また、自主防災組織も順調に増加しているが、さらに意識付けしながら、より多くの防災組織の結成が求められる。「自主防災組織の結成数」がクリアしていないが、順調に加入数が伸びていることから、「良好である」と評価した。			

最終評価	評価者 部長職(総合計画策定委員)で構成する施策評価チーム	評価年月日 平成31年3月27日		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>評価理由及び意見</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 極めて良好である <input type="checkbox"/> 良好である <input checked="" type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある </td> <td>基本事業の成果指標は、中間目標値を超えていることからおおむね良好とされるが、基本施策の目標は防災体制の整ったまちを目指す所であり、H23年の東日本大震災以降に国、道においても、防災対策が、大きな課題となっている。また、H30年の胆振地震において大規模な停電が発生したこともあり、大規模停電への備えなど、災害に対する防災体制の拡充が非常に重要となってきている。また、災害時要支援者制度も定められ、今後は、支援者の避難計画の策定も必要である。 計画当初と比べ、防災体制に求められているものが、大幅に増えていることもあり、「普通である」と評価した。</td> </tr> </tbody> </table>	評価	評価理由及び意見	<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input type="checkbox"/> 良好である <input checked="" type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある
評価	評価理由及び意見			
<input type="checkbox"/> 極めて良好である <input type="checkbox"/> 良好である <input checked="" type="checkbox"/> 普通である <input type="checkbox"/> 問題がある <input type="checkbox"/> 極めて問題がある	基本事業の成果指標は、中間目標値を超えていることからおおむね良好とされるが、基本施策の目標は防災体制の整ったまちを目指す所であり、H23年の東日本大震災以降に国、道においても、防災対策が、大きな課題となっている。また、H30年の胆振地震において大規模な停電が発生したこともあり、大規模停電への備えなど、災害に対する防災体制の拡充が非常に重要となってきている。また、災害時要支援者制度も定められ、今後は、支援者の避難計画の策定も必要である。 計画当初と比べ、防災体制に求められているものが、大幅に増えていることもあり、「普通である」と評価した。			